



自分の人生を生きよう

◇ **今回は、多田奎介さん（関西大学総合情報学部情報学科）のレポートです！**

みなさん、はじめまして。2013年卒の多田奎介と申します。今回、関高校の先生からお声がけを頂き、原稿を書かせていただいています。私の略歴はこのような感じです。

2013年 関高校卒業

（バレーボール部に入部しましたが、一年たたずに辞めてしまいました… 顧問の先生すみません！）

2017年 関西大学卒業

2017年 リクルートグループ入社（現在、社会人2年目）

私からは、みなさんに下記2点を大事にしてほしいと思います。

・人は自分の実体験に基づく、かたよりのある考えをしゃべる。

その中で事実を見にいき、自分の好きな解釈、自分なりの価値観を磨いてほしい。

みなさんも、16～18年間人生を過ごす中で、色々な人から色々な事を言われてきたと思います。これからはそうだと思います。（実際、自分も何が正しいのか、何を信じて選択すればいいのか、よくわからなかった時がありました！）

今のみなさんだとこんな感じでしょうか。

大学には絶対行った方がいい。国立大の方がいい。私立の方が就職に強い。今はもう学歴なんて関係ない。理系の方が就職に強いなどなど。

もっと細かいことだと、この参考書は分かりやすい、分かりにくい、などでしょうか。

こういうものって基本的に自分自身の体験・自分の周りや他人の話その他様々なところから話を聞いて作られた自分の価値観を元に話しています。

人の発言・情報って、大きく分けると3つあると思っています。

- ・ 事実情報
- ・ 解釈情報→事実に対して自分がどう捉えるか
- ・ 価値観情報→何を良いと思い、何を嫌だと思うか。

分かりやすい例でいうと、

事実： 今日の気温は38℃

解釈： 38℃って暑い

価値観： 暑いと海に行けるから良い！

人によっては、

事実： 今日の気温は 38℃

解釈： 38℃って暑い

価値観： 暑いと汗をかくから嫌

になるかもしれません。

灼熱の砂漠に住む人からすればこうなるかもしれません。

事実： 今日の気温は 38℃

解釈： 38℃ってすごく寒い

価値観： 風邪を引きそうだから嫌だなあ

このように人によって事実は一緒でも捉え方は全く違います。とらえ方はあくまで人それぞれですので、事実を見にいき、いろいろな人の解釈・価値観を聞いて自分の考えを作ってほしいなと思います。

例えば勉強する理由とか、人によって本当に違うと思います。いい大学出たほうがその後有利らしいという世間の流れ・他人の意見は鵜呑みにせず、「自分が」勉強する理由・しない理由を、ぜひ見つけてほしいな—と思います。そこが明確なほうが頑張れるし、みなさんの中でも、比較的好い成績、後悔ない生き方ができるのではないかと思います。とても難しいことだとは思いますが。

ちなみに私は高校の時、「夢」「やりたいこと」がありませんでした。「夢」「やりたいこと」が見つかった時のために、選択肢を広げようと思い勉強してました。とはいえ本当に難関大学を出たほうが選択肢が広がるのか事実を取りにいてませんでしたし、気づくのがすごく遅かったので、みなさんにはそこをやっていたらと思います。

・「なぜ」という問いを大切にしてほしいと思います。

物事の本質・価値に迫りやすい、気付きやすいと思っています。

関高校の中で、「活躍する卒業生」というこの取り組みが、どれだけ認知されているのか分かりませんが、私が関高の学生だった時ならこう思っていたと思います。「卒業生の卒業後興味ない」「それよりも難関大いく方法教えてほしい」「難関大学に受かった先輩にだけインタビューして勉強方法教えてよ」…

おそらくそれは関高校の先生は百も承知だと思います。

卒業生に連絡を取って、在校生のためをお願いして、文章・写真を編集してホームページにアップする。これってみなさんが想像するよりおそらく時間がかかったり面倒だったりすると思います。なのに「なぜ」このようなことをしてくださるのでしょうか。

物事には「背景」と「目的」があります。歴史を学んでいるみなさんにはわかると思います。

世の中の流れを考え、関高生（高校生）の現状を踏まえこういった活動が必要だと考えているのだと思います。

「なぜ」という問いは大切にしてほしいです。

ちなみに大学受験レベルの話をする、私の知り合いの開成中学 → 開成高校 → 東大 に進学した友人は、受験においても過去問に対して「なぜ東大はこのような問題を出したのか」「東大は何を求めているのか」をすごく考えていたらしいです！



関高の友人とハワイへ卒業旅行

・仕事について

最後にみなさんには少し先の話になるかもしれませんが、今後考えるであろう「仕事」について書きたいと思います。

私は今、求人広告の営業をしています。企業が成長するための要素としてヒト、モノ、カネ、情報があるとされています（経営資源）。その中で、「ヒト」が源泉だと信じてこの業界に飛び込みました。

企業様は将来どんなビジョンを描いているのか、今後どんなことをしようとしているのか。

上記を実現するためにどんな人を採用すればいいのか。

経営者や人事の方と日々話し合いをしています。

小さな企業で、思った通りの人が採用できて社長が喜んでいたり、企業がすごく活気づいたり、入社した方に「この企業を選んでよかった」と言ってもらえたりしたときはやってよかったと思います。いろいろな企業様・求職者の方とお話しする中で「人によっていい会社は様々だ」と日々感じます。



関西大学卒業式

・最後に

人生は一回きりです。人生は一回きりなので挑戦しよう！なんていうつもりは全くないです。一回しかないからこそ失敗したくないと思うのが普通だと思うので。挑戦したい人はすばらしいし、挑戦したくない人はしなくていいと思います。

(笑)

ただ、他人は鵜呑みにせず自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分で選択して生きてほしいなと思います！



リクルート同期との旅行にて